

金剛寶戒寺便り

五月一日発行 第十四号

檀信徒の皆さまこんにちは。過ごしやすしい季節になりましたが、季節の変わり目は心身共に不安定になりがちです。空気の澄み切った早朝に深呼吸をしてみてください。わずかな時間ですが心と体に自然からの力と安らぎを頂けます。三日坊主を繰り返してみてください。

四月二十一日の夜のフェリーで高野山開創千二百年記念大法会の団体参拝が始まりました。道中を通して思ったのは、初めての方向士でも共にする食事とお酒がお互いの距離を縮めてくれた様に感じました。

翌二十二日は遺跡（ゆいせき）本山観心寺が最初の拝観でした。遺跡本山とは総本山金剛峯寺、大本山寶壽院に次いで寺格の高いお寺で、高野山真言宗の中で二ヶ寺しかない弘法大師空海様にとてもゆかりの深い由緒正しいお寺です。宝物館等もあり、もつとゆつくりとお参りをしたかったです。足早に次の丹生都比売神社（にゅうつひめじんじや）へと移りました。

この神社は空海様が高野山を開かれるにあたり高野御子大神が白と黒の犬を連れた狩人に化身して現れ、高野山までの道案内をしたと伝えられています。また丹生都比売神社が神領であった高野山の地を寄進したとして、開創の時より深い関わりのある神社です。この地に於いて明治時代の神仏分離令以降途絶

えていた柴燈大護摩（火渡り）の法要が行われました。文章にするのは難しいのですが、護摩供養をしていた行者（お坊さん）達の真剣さがとても印象的でした。失敗の許されない一発勝負の法要に神仏の融合された靈験が時を超えて降りてきた様にさえ感じました。私自身も丹生都比売神社をお参り出来て力を頂きました。

つづいて昼食の柿の葉寿司を挟んで高野山へ、四月二日に法要が始まって以来ほとんどが雨の高野山でしたが、我々の団参期間中は雲一つない晴天で、奥之院も歩く事が出来ました。皆さんの奉納で建立された石灯籠をお参りすることが出来て喜びもひとしおでした。また高野山での宿坊は無量光院様でした。

二十三日は朝六時のお勤めから始まりました。無量光院様は役僧さんが多いのでも有名なのですが、外国人の御坊様が居たのに気付かれましたか？一番若いお坊さんは高校生で私たちを送り出してから駆け足で高野山高校に通っていました。

金堂での法要は秘仏のご本尊様をお参りしにくかったのが残念でしたが、今回の一番のメインであった胎蔵界の結縁灌頂は阿闍梨様のお話の後に仏様とご縁を頂き、諭された方の中には感情の高ぶりから臉を熱くされた方もいらっしやいました。深々とお大師様のお軸に礼拝している御姿を見ているとこちらまで胸が熱くなりました。この時間を共に出来

た事を本当に光榮に思いました。

最終日の大阪観光は大いに笑って幕を閉じました。団参に行かれた方から感想も頂いておりますので御紹介させて頂きます。

〔前文略〕今回のスケジュールは全て初体験。火渡りに高野山に宿坊、結縁灌頂。特に結縁灌頂の後にはなぜかわからない「感動の涙」が出てきました。修学旅行の様な修行を通じて、少しは精神的に成長したかも・・・今後も「ご縁と感謝」を大切にしていきたいと思えます。ありがとうございます。（山下啓介様）

確かにツアーとは違う修行の様な団体参拝でした。山下さんは最年少の参加者様でしたが、今回の結縁がより充実した人生に導いてくれる気がしております。団参に参加された皆さまと、とても良いご縁を頂きました。こちらこそ本当にありがとうございます。

六月八日（月曜日）

午後三時から四時まで当山本堂に於いて

講師 瑞倉寺 副住職 三房真昭師

『日常に使える真言座禅体験会』

冒頭にも書きましたが、呼吸と自律神経には大きな関係があります。私も朝勤で座禅の時間を取っていますがとても気持ちが良いです。ストレスの発散以外にも様々な効果があります。椅子での座禅も可能ですので動きやすい恰好でご参加下さい。

合掌